

各県別建設工事案内(第3回)

●関東地方

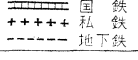
首都東京と、京浜・京葉の二大工業地帯をもつ関東地方は日本の心臓部にあたり面積 32 000 km² で国土の 9 %、人口 2 200 万名で総人口の 24%、全体の 2/3 を占める関東平野は日本で最も広大な面積を有する。いろいろな意味で現代日本の激しい動き、厳しい矛盾の縮図を見せ、その国づくりの方向はわが国将来の発展に深い影響を与えるであろう。

【編集部】

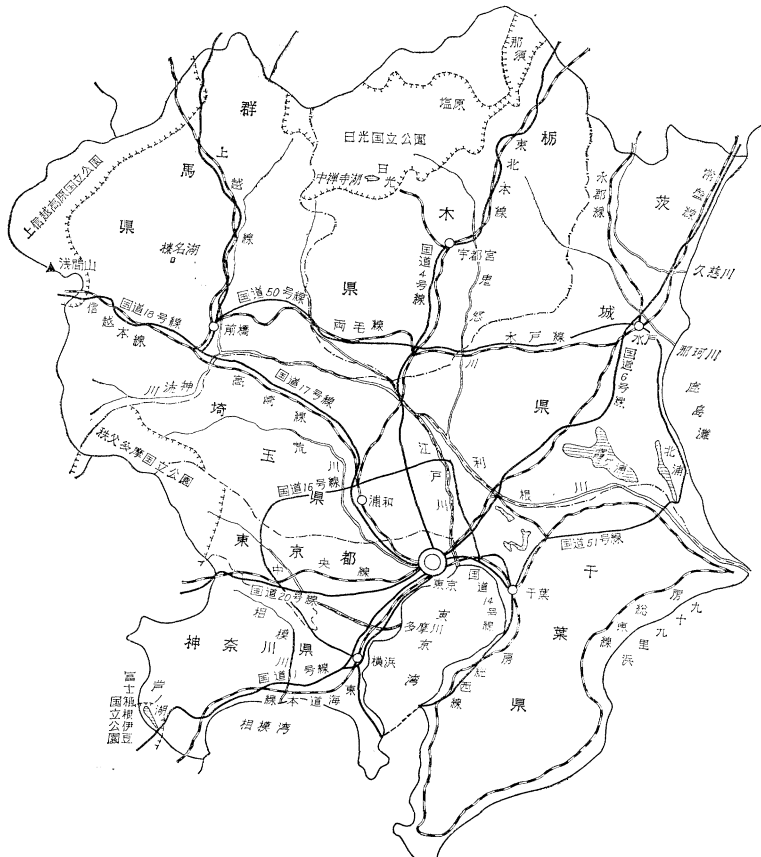
関東地方各県諸元表
(1961 年 10 月現在, 朝日年鑑による)

県名	市の数	総面積	総人口	36 年度 予算
群馬	11	km ² 6 334.86	1 578 624人	一般 221億 4 991 万円 交付金 60億 4 516 万円
栃木	11	km ² 6 419.64	1 513 624人	一般 181億 7 500 万円 交付金 55億 8 721 万円
茨城	16	km ² 6 089.68	2 047 024人	一般 260億 4 400 万円 交付金 62億 9 300 万円
埼玉	23	km ² 3 798.40	2 430 871人	一般 232億 6 142 万円 交付金 47億 7 000 万円 県債 76億 2 448 万円
千葉	18	km ² 5 033.92	2 306 010人	一般 255億 9 706 万円 交付金 65億 5 473 万円
神奈川	14	km ² 2 361.37	3 443 176人	一般 373億 7 862 万円 交付金 0

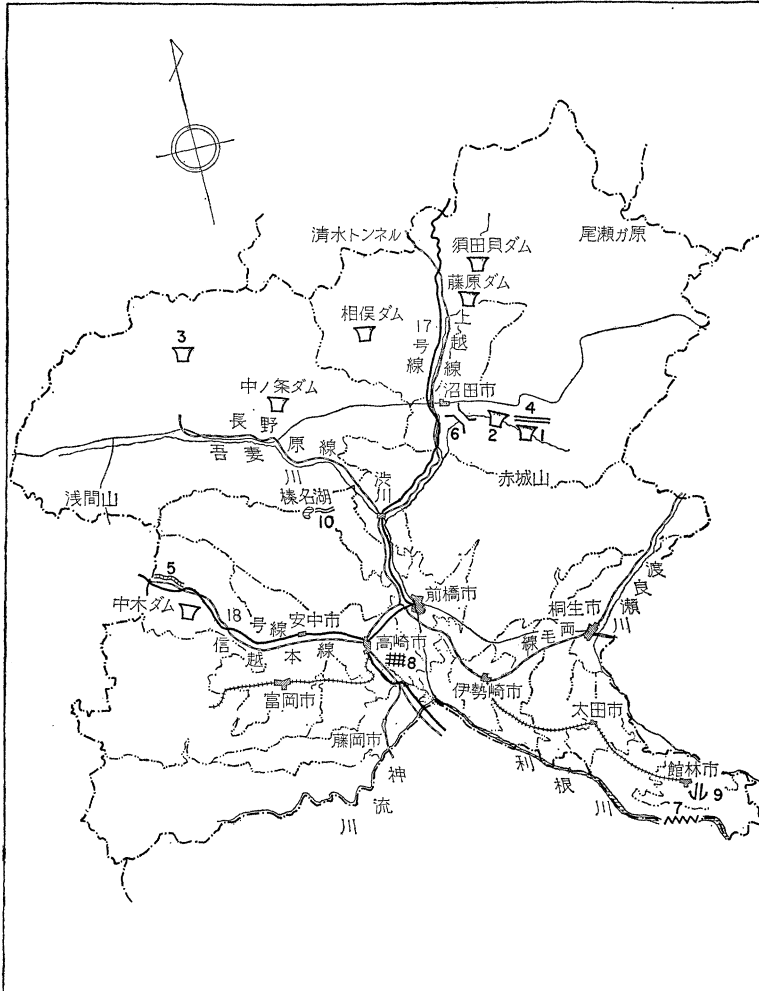
使用記号一覧図

ダム工事 	道路工事 (新設) 	鉄道工事 (新設) 国鉄 私鉄 地下鉄 
橋梁工事 	河川工事 	観光施設および観光計画 
港湾工事 	海岸保全 	上水道および工業用水 
下水道 	工業用地計画 および住宅 	都市計画 
埋立工事 	公園緑地 	土地改良 
特殊鉄道 		

関東地方概要図



群馬県



群馬県内における将来計画

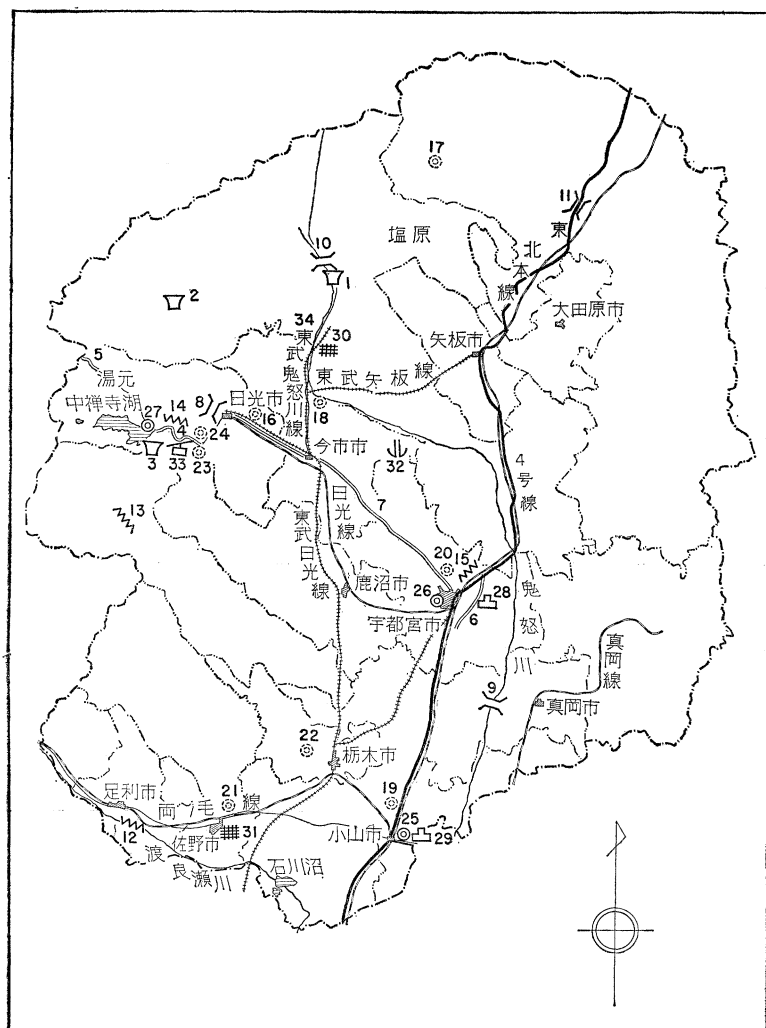
道路：1. 二級国道として東京野沢線の改修，本県内は藤岡市，富岡市，下仁田町を経て長野県中込町に至る間の改修
2. 二級国道として川口日光線の改修，本県内は館林市，太田市，桐生市，大間々町を経て，栃木県足尾町に至る間の改修
3. 一級国道として，前橋水戸線の改修，本県内は前橋，桐生市間の再改修

河川：1. 吾妻川支川須川の酸性中和にともない，吾妻川ハツ場ダムの建設
2. 渡良瀬川神戸ダムの建設，神戸ダムの建設により洪水調節，用水補給，発電等の効果と同時に渡良瀬川氾濫を完全に防止することが出来る
都市：前橋高崎両市の一体化を図り将来これを人口 100 万の都市とする。

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	菰原ダム建設工事
	2	平出ダム建設工事
	3	吾妻川総合開発事業 (品木ダム)
道路工事 (新 設)	4	国庫補助 二級国道日光沼田線 道路改良整備事業 (道路新設)
	10	榛名道路
鉄道工事 (新 設)	5	信越本線横川・軽井沢間ずい道掘削その他工事 (複線改良工事) 第1, 第2, 第3 工区
橋梁工事	6	二恵二見橋 橋梁架換工事
河川工事	7	中小河川 新堀川改修事業
都市計画	8	街路，下水道，緑道 築造工事
土地改良	9	楠木承水灌土地改良 事業 昭和 36 年度工事

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施 工 年 月 竣工予定年月	備 考
利根郡利根村大字藺原 (上越線 沼田駅、バス)	建設省関東地建 藺原ダム工事々務所 沼田市原新町	藺原ダム 370 県営藺原 第1発電 所 273	ダ ム 高 85.5 m ” 長 127.0 m ” 立 積 210 000 m³ 発電所出力 年 間 100 000 mkW 最 大 26 000 kW	ダ ム… 建設省 発電所… 群馬県	仮排水工事中 清水建設	ダ ム 1959~1963 発電所 1963.4~ 1964.3	
利根郡白沢村大字平出 (上越線 沼田駅、バス)	群馬県電気局片品川 建設事務所 利根郡白沢村大字尾 合	ダム 335 発電所共 総額 1 080	ダ ム 高 40.0 m ” 長 83.5 m ” 立 積 38 000 m³ 発電所水力 年間 26 300 mkW (半地下式) 最大 5 300 kW	群 馬 県	仮排水路工事施工 済片品川開発工事 共同企業体仮締切 工事中 西松建設	1961.1着工 (ダム1963. 4 着工) 1964. 3 竣 工	発電所の名 称は県営藺 原第2発電 所
吾妻郡草津町、六合村地 内(長野原線 長野原駅 バス)	吾妻川開発事務所 吾妻郡草津町大字草 津	3 (36年度) 81 (発電関係 を除いた全 体事業費)	従来酸性河川として放置されて いた吾妻川を人工的に恒久中和 に水質を改善すると共に中和生 成物が下流に流れるを防止する ダムを築造し県営発電を行うさ らに下流発電所の出力増を図る ダ ム f高 43.0 m 堤長 103.0 m f堤体積 48 000 m³ 発電所 f最大出力 7 500 kW f年間発生電力量 32 014 mWh	群 馬 県	栗田工業 (ただし年度実施 調査分)	1961年度は 実施調査 1961. 4. 1 ? 1964.10.30 竣工予定	
利根郡白沢村同郡利根村 (上越線 沼田駅、バス)	沼田土木出張所 沼田市669	36 年 度 7.1297 32 年 度 ? 36 年 度 15.2513	全体計画延長10 550mの内5 830 m施工済(36年度まで、車道巾 員5.5m)構造規格…第2種山地 旧道の縦断平均勾配 7.3 %半径 10m以下のカーブ13カ所トンネ ル(L=327 m)1カ所に対し新 道路は平均縦断勾配 5.2%でト ンネルはなく全路線がオープン であり、かつ全延長の約80%が 南斜面を通っている	群 馬 県	佐田建設 外 6 社	1957. 7 ? 1964. 3 (継続事業)	
群馬県伊香保町→榛名町			延長 12.6 km 観光道路	日本道路 公 団			
信越本線丸山信号場~矢 ヶ崎信号場間 信越本線 横川、熊の平、軽井沢各 駅下車	第1工区(横川工事 区) 碓氷郡松井田町横川 第2工区(熊の平工 事区) 碓氷郡松井田町坂本 第3工区(軽井沢工 事区) 長野県北佐久郡軽井 沢町	複線改良 工事費 約 270 (ただし 電気関係 を除く)	新線は従来の齒軌条及び第3軌 条を廢止して通常の軌道及び架 線とする新線総延長 8 800 m ずい道 11カ所、延長 5 400 m (最長延長 1 328 m) 橋梁 17カ所 延長 220 m 曲線 18カ所 最小半径 350 m 軌道 50 kg Railに特殊コンク リート枕木を使用	日本国有 鉄道 (信 濃 川 工 事 局 (新 潟 県 小 千 谷 市)	第1工区 前田建設工業 第2工区 大 成 建 設 第3工区 鹿 島 建 設	第1期工事 (新線工事) 1961. 4. 1 ? 1963. 6. 第2期工事 (現 在 線 改 築) 1965 年 度 開 業 予 定	
県道 沼田赤城線 沼田市上沼須 入会 利根郡昭和村大字糸井 (上越線 沼田駅、バス)	沼田土木出張所 沼田市669	4.489 (但し37年 度施工取付 道路分0.36 を含む)	型 式…逆ランガーガーダー 橋 格…2等橋 橋 長…120.0 m 橋梁巾員…5.5 m 鋼 重…169.851 t	群 馬 県	(下部工) 万 屋 建 設 (上部工) (株)横河橋梁製作 所	1960.8.3 ? 1962.6.30 (上部工まで)	
邑楽郡明和村大字須賀地 先(東武線 館林駅、バス)	館林土木出張所 館林市大字館林2284 の2	1.6 (34~ 35年度) 3.2 (36年度) 36 の 予 定 (全体計画) 以上何れ も事業費	邑楽郡西部の湛水害をなくすた め、新堀川の谷田川合流点より 利根川まで凡そ直線に 1 500 m の放水路を新設し排水機場にて 利根川に放水する 排水ポンプ 6 台 重油機関 2 820 ps	群 馬 県	排水函渠工事 (関東地建利根川 上流工事々務所へ 委託) 河 本 工 業	1959.4 ? 1966.3	
群馬郡倉賀野町(高崎線 倉賀野駅)	高崎東部第一区画整 理事務所 群馬郡倉賀野町1178	2.66		群 馬 県	井 上 工 業	1961.12.25 ? 1962. 3.31	
館林市大字羽附地先 (東武線 館林駅)	館林土地改良事務所 楠木事業所 館林市大字館林2438	1.991	土水路延長 708.0m 新川掘削であること	群 馬 県	大 豊 建 設	1961.10.18 ? 1962. 3.25	

栃 木 県



栃木県の将来計画と抱負

北関東の栃木否世界の日光の本県土木の重点施策は利根川、那珂川両水系を治水主幹対策として、五十里ダムに次ぎ川俣ダムも一両年内に完成し所定の多目的を達成し、これに追隨して中下流部河川の砂防および改良が強力に推進されている。

一級国道四号線および二級国道日光宇都宮線ならびにイロハ坂の完成もつかの間、年々交通の激増は好む好まざるとにかかわらず、第二イロハ坂の早期実現が要請され、日光国立公園の奥地開発の金精峠道路の着工を始め中禪

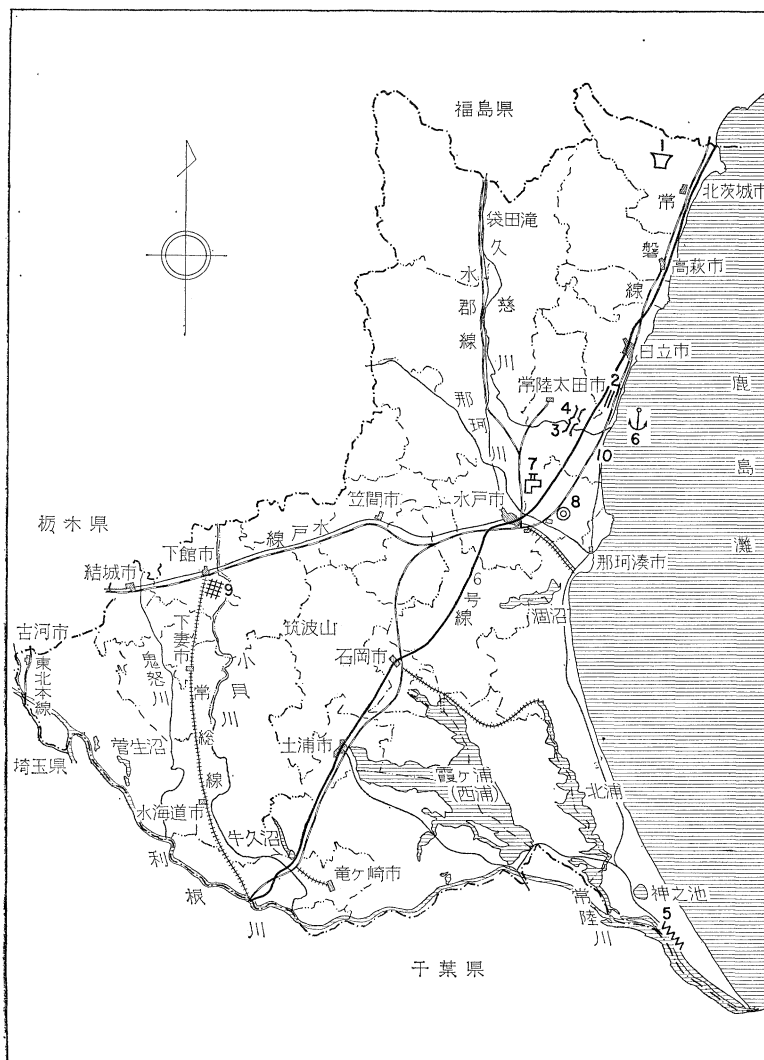
寺湖一周および日光、鬼怒川、塩原、那須等観光地連絡ドライブレインの計画が進められ、また一般産業振興のために二級国道および主要地方道などの改良と舗装が計画的に続行されている。

なお首都圏整備の脚光をあびる誘致工場の団地および住宅対策とあわせて都市計画ならびに改造に加えて諸種建築の近代化がおこなわれつつあることなどは、わが土木行政の県土への開発と保全によって県民生活の安定が望まれる所以である。

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	五十里ダム
	2	川俣ダム
	3	中禪寺ダム
道路工事 (新 設)	4	いろは坂
	5	金精峠道路
	6	宇都宮バイパス
	7	日光宇都宮線
橋梁工事	8	日光橋
	9	鬼怒大橋
	10	海尻橋
	11	晩翠橋
河川工事	12	渡良瀬川改修
	13	足尾砂防ダム
	14	大雄砂防工事
	15	田川改修
観光施設 および 観光計画	16	日光ゴルフ場
	17	那須ゴルフ場
	18	鬼怒川ゴルフ場
	19	小山ゴルフ場
	20	宇都宮ゴルフ場
	21	唐沢山ゴルフ場
	22	栃木ゴルフ場
	23	細尾スケートリンク
	24	古河スケートリンク
下水道	25	小山都市下水道
	26	宇都宮公共下水道
	27	中宮祠公共下水道
工業用地 計画および 住 宅	28	宇都宮市街地開発組合
	29	小山市街地開発組合
都市計画	30	街路Ⅱ-2-3 新鬼怒川線
	31	街路Ⅱ-3-2 相生町犬伏線
土地改良	32	鬼怒川中部 農業水利事業
特殊鉄道	33	日光ケーブルカー
そ の 他	34	鬼怒川水力増強事業

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施 工 年 月 竣工予定年月	備 考
塩谷郡藤原町川治（鬼怒川温泉駅、バス）	塩谷郡藤原町川治	480	重力式コンクリートダム 長 262m 高 112m	建設省	鹿島建設	1950. 9.26 1957. 3.31	治水 1 000 m ³ /s 農業 9 210 ha 電力 17 700 kW
塩谷郡栗山村川俣（鬼怒川温泉駅、バス）	塩谷郡栗山村川俣	670	アーチ式コンクリートダム 長 157m 高 118m	建設省	鹿島建設	1957. 4.～ 1965. 3.	治水 800 m ³ /s 農業 19 400 ha 電力 113 500 kW
日光市中宮祠（日光駅、バス）	日光市中宮祠	8	重力式コンクリートダム 長 25.1m 高 6.4m	栃木県	漆原工業	1957. 7. 5 1960. 3.31	湖面上昇 農業 512 ha 電力 3 120 kW
日光市細尾一中宮祠（日光駅、バス）	日光市細尾馬返	20	山岳道路 長 6 080m	栃木県	日本舗道、吉新組外 8 社	1954. 9.	
日光市湯元一菅沼（湯元から徒歩）	日光市中宮祠	83	トンネル 745m 柱 240 道 路 7 471m	道路公団		1961.11.～ 1964. 3.	
宇都宮市宮原町一今泉町（宇都宮駅、バス）	宇都宮市平松町	50	跨線橋 24m 橋梁 67m 道路（巾 11～18 m）6 160 m	建設省	直営及請負	1959. 4.～ 1962. 3.	
宇都宮市一日光市中宮祠（宇都宮駅、バス）	宇都宮市中橋田町	45	延長（51 270m）46 600m 杉並木延長 17 800m 巾 6.0m	栃木県		1953. 4.～ 1957. 3.	
日光市上鉢石町（日光駅、バス）	日光市四軒町	6	金成鋼板桁橋 長 38m	栃木県	川田工業、浜や組	1961. 5.28 1962. 5.31	
真岡市大沼（石橋駅、バス）	宇都宮市中橋田町	20	曲弦鋼ワーレントラス 長 715m	栃木県	東京鉄骨橋梁、佐のや組	1954.10. 2	
塩谷郡藤原町海尻（鬼怒川温泉駅、バス）	塩谷郡藤原町滝	5	ランガートラス 長 117.2m	建設省	松尾橋梁	1956. 3.一	
黒磯町黒磯地内（黒磯駅、バス）	宇都宮市峯町	—	二ヒンジ鋼拱橋 長 128m	建設省	直 轄	1932	
足利市岩井町地内（足利駅、徒歩）	足利市通り 5 丁目	121	洪水分水路 長 1 400m	建設省	直 営	1960. 4.～ 1965. 3.	
上野原町足尾町赤倉（足尾駅、徒歩）	群馬県大間々町 1 丁目	40	重力式コンクリートダム 長 122m 高 28m	建設省	大林組	1950. 9.～ 1954.10.	
日光市細尾（日光駅、バス）	日光市花石町	35	堰堤 3 本 横工 33 本 擁へき 8 km 植成 15 ha	建設省	直営及請負	1950. 4.～ 1970. 3.	
宇都宮市大曾町一築瀬町	宇都宮市河原町	45	市内河川改修 長 4.8 km	栃木県	直 営	1951. 4.～ 1965. 3.	
日光駅、ハイヤー	日光市所野	22	リバーサイドコース	日光ゴルフ K K		1956. 4.一	
黒磯駅 “	那須町湯元	30	山岳コース	那須ゴルフクラブ		1935. 4.一	
今市駅 “	今市市大桑	30	リバーサイドコース	鬼怒川カントリークラブ		1958. 9.一	
小山駅 “	小山市喜沢	20	リバーサイドコース	小山カントリークラブ		1959. 4.一	
宇都宮駅 “	宇都宮市野沢町	25	山岳コース	宇都宮ゴルフクラブ		1961. 7.一	
佐野駅 “	佐野市唐沢山	18	山岳コース	唐沢ゴルフクラブ		1961. 5.一	
栃木駅 “	栃木市後山	18	山岳コース	栃木カントリークラブ		1960.10.一	
日光駅 “	日光市中鉢石町	5	自然凍結 400m セパレートコース ホッケーリンク二面	日 光 市		1943. 4.一	
“ “	日光市清滝	8	パイピング人工凍結 ホッケーリンク一面	古河工業 K K		1959.12.一	
小山市（旧市内）（小山駅、バス）	小山市小山 2324	97	合流濾床式面積 463 ha 管渠径 1 600 mm 74 281 m	小 山 市		1961. 4.～ 1975. 3.	
宇都宮市（旧市内）（宇都宮駅、バス）	宇都宮市松原町	90	人孔 1 504 個 合流濾床式面積 460 ha 管渠径 1 200 mm L=126 650m	宇都宮市		1960. 4.～ 1970. 3.	
日光市中宮祠（日光駅、バス）	日光市中鉢石町	6	高速散水濾床式管渠径 700mm 面積 45.27 ha	日 光 市		1960. 4.～ 1964. 3.	
宇都宮市上平出町（宇都宮駅、バス）	宇都宮市役所	225	工場用地造成 92万坪	栃木県、宇都宮市、栃木県、小山市、同		1967. 3.一	
小山市横倉新田（小山駅、バス）	小山市役所	115	工場用地造成 50万坪			1967. 3.一	
藤原町下滝一上滝（鬼怒川温泉駅、ハイヤー）	藤原町下滝	32	二級国道バイパス 2 875m 立体交差 1 カ所 橋梁逆ランガー 250m 2 橋	栃木県	川崎重工業、外	1960. 4.一 1965. 3.一	
佐野市相生町犬伏町（佐野駅、バス）	佐野市天神町	17	二級国道バイパス 3 500 m 立体交差 1 カ所 橋 梁 P C 45m 1 橋	栃木県	オリエンタル、外	1959. 4.一 1963. 3.一	
塩谷郡塩谷村風見山田（矢板駅、バス）	宇都宮市大曾町 282	360	重力式コンクリートダム 長 150m 高 2.65m	農 林 省	佐藤工業 大東建設	1957. 7.一 1967. 3.一	取水 42 m ³ /s 耕地 8 940 ha 電力 12 200 kW
日光駅、バス	日光市馬返一明智平	80	長 2 000m 80 名収容運転 8 分	東武鉄道		1932. 4.一	
塩谷郡藤原町下滝（鬼怒川温泉駅、徒歩）	塩谷郡藤原町下滝	1 400	トンネル 39.3 km 川俣 H 107m 栗山 H 165m 地下発電 下滝 H 330m 塩谷 H 61m	東京電力	鹿島、大成、間飛島、村上	1961. 4.1～ 1963.10.31	出力 川俣 栗山 下滝 塩谷

茨 城 県



茨 城 県 の 開 発 に つ い て

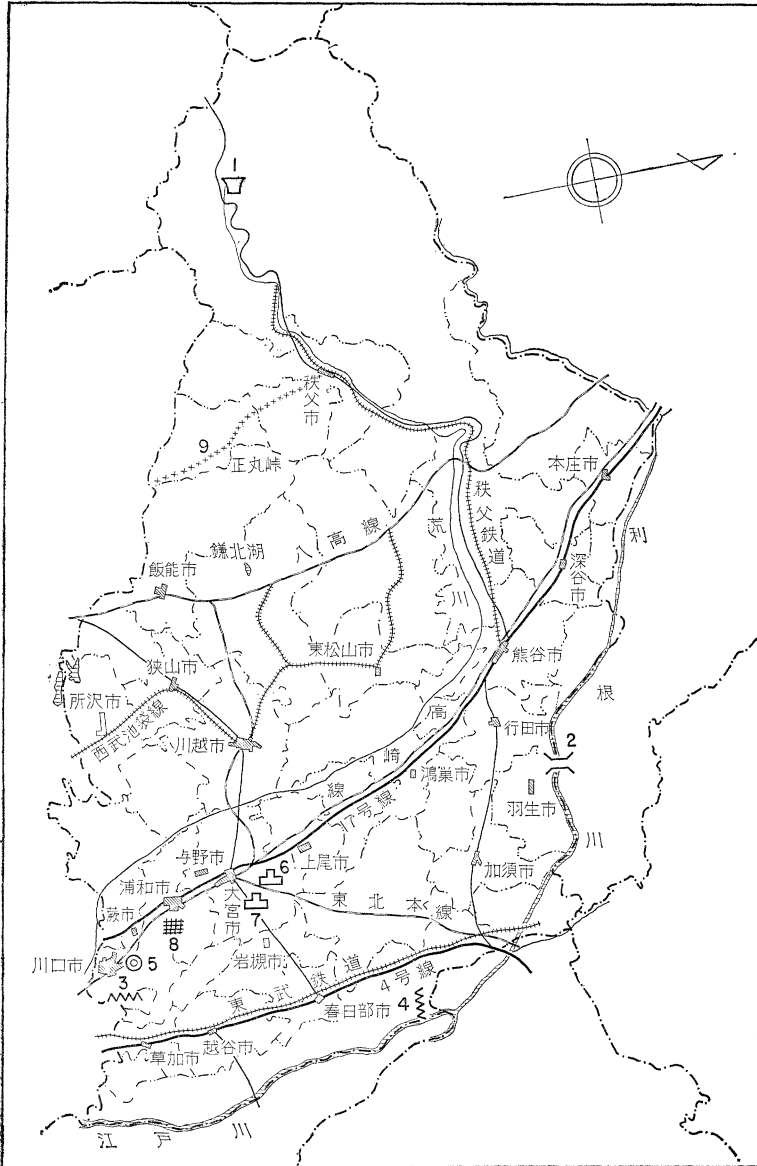
茨城県は首都東京より 40 km から 180 km の圏内に入るいわゆる未開発の地であります。最近の道路港湾の整備状況および国鉄の電化によりいちじるしく時間的な距離は短縮されてきた。地勢は県南部に霞ヶ浦、県北に那珂川、久慈川という豊富な水資源と県一帯の広大な林野、砂丘地帯それに県の東面は洋々たる鹿島灘に面し、昔ながらの農業県から工業県に脱皮するのに多くの好条件をもっている。このように人為的な運輸のスピードアップと自然条件を最高度に利用したものに東海村の原子力研究所、原子力発電所を

中心とした原子力関連産業があり、このほか計画として鹿島工業地帯と勝田工業地帯造成などがあります。前者は霞ヶ浦を、後者は那珂川に水を求め広大な林野、砂丘地帯を工業団地化しようとするものであります。地図上に無造作に画かれたこれら机上の夢が、経済調査、現地調査をしいよいよ地質調査へと実現への路をあたかも牛の歩むに似た速さで進んでおりますが、このスピードこそ農業県から工業県へと容姿を変えてゆくバロメーターでもあります。

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	花園川総合開発事業 (水沼ダム)
道路工事 (新 設)	2	道路改良工事 (石名 坂改良工事)
橋 梁 工 事	3	留橋架換工事
	4	茂宮川橋
河 川 工 事	5	逆水門工事 (常陸川)
港 湾 工 事	6	日立港改修
上水道およ び工業用水	7	那珂川工業用水道事 業
下 水 道	8	都市下水道工事
都 市 計 画	9	街 路 事 業
そ の 他	10	原子力発電所建設

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施 工 年 月 竣工予定年月	備 考
常盤線 磯原駅	北茨城市華川町	50.0	コンクリート重力式ダム	茨 城 県		1965. 3.	1961年度は実施計画, 1962年度より工事着手
水郡線 常陸太田駅	建設省常陸工事事務所 常陸太田市	7.4	土工量 142 200 m ³ 軟弱地盤のためサンドパイル, サンドマット工法	建 設 省	三信建設工業 一部直営	1962. 3.	
常盤線 東海駅	大宮土木事務所留橋 架換事務所 日立市留町	24.2	日本原子力発電KK機械運搬の ため特殊設計 (荷重 180 トント レーラー)	茨 城 県	武 藤 建 設	1960. 5.~ 1963. 3.	曲弦ワーレ ントラス 6 連
同 上	高萩土木事務所 日立出張所 日立市宮田町高松台	6.5	〃	〃	常北土建	1961. 7.~ 1963. 3.	P C 桁 5 連
千葉県銚子市よりバス	建設省逆水門工事事 務所 鹿島郡波崎町	140.0	汐止め及び霞ヶ浦湖面水位の調 整	建 設 省	西 松 建 設	1963. 3.~	
常盤線 大みか駅	日立港改修事務所 日立市行戸	12.5	ケーソン工事	茨 城 県	直 営	1962. 3.~	
常盤線 水戸駅		88.0	勝田工業団地へ那珂川より 100 000 m ³ /日 の工業用水を給 水する	茨 城 県		1964. 3.~	1961年度は実 施計画1962年 度より実施現 在の事務は県 開発事務局で 取扱っている
常盤線 勝田駅	勝 田 市	6.0	工業団地排水路	勝 田 市	株 木 建 設	1962. 3.~	
水戸線 下館駅	下 館 市	0.5	踏切除却事業	茨 城 県	東 鉄 工 業	1962. 3.~	
常盤線 東海駅	那珂郡東海村	3.540	冷却用水路の特殊設計及施工 コールドホール改良型原子炉 電気出力最大 166 000 kW	日本原子 力 発 電 K K	清 水 建 設	1964. 7.~	

埼玉県



工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	二瀬ダム
橋梁工事	2	昭和橋架換工事
鉄道工事	9	武州鉄道
河川工事	3	芝川改修工事
	4	中川上流改修工事
下水道	5	公共下水道工事
住宅工事	6	昭和36年度県営住宅 大宮砂田地建設工事
	7	昭和36年度県営住宅 大宮七里団地建設工事
都市計画	8	南浦和立体交差工事

埼玉県

1. 道路 東京都に隣接する本県道路の通過交通量は、益々増大の一途をたどり、国道17号線の交通量はすでに限界に達し、大宮一鴻巣間のバイパス工事も近く完成する見込みであるが、なお大宮一東京間のバイパスが計画されている。また東京を起点とし、埼玉、群馬を経て新潟を結ぶ関東自動車道、東京一青森間を結ぶ東北自動車道の建設計画が推進されている。

2. 河川(芝川改修について) 芝川は川口市にて荒川と合流している河川であるが、出水時には荒川の高水位に圧迫されて荒川への流出が困難となり、近年の地盤沈下が進むにつれてこの状況は一層悪化しているものである。芝川水門の逆止門扉の閉鎖により、川口市沿川の内外水位が上昇し市街地に湛水して、その被害は年々莫大の額に達している。この洪水防除と湛水

排除を目的として、芝川を中流部から分派し市の北辺を通ず放水路工事を実施中である。改修延長6.4km、計画流量250m³/sで、昭和39年度通水する計画であり、この改修事業が完成の暁には、洪水の脅威はほとんどなくなり、民生の安定はもちろん県南開発に貢献するところ大である。

3. 工業地帯開発区画整理事業 首都圏整備法にもとづく市街地開発区域として、大宮浦和地区、熊谷深谷地区の指定をうけ、それぞれ130万坪、110万坪の工業団地開発を計画、このうち一部土地区画整理事業を施行中で、すでに約33万坪の公募分譲が住宅公団により行なわれた。さらにその他の計画団地についても10数社の工場進出が決定し、現在操業および建設中である。なお、次の工業衛星都市として、川越狭山地区の指定

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施 工 年 月 竣工予定年月	備 考
秩父郡大滝村大字久保 (高崎線 大宮～熊谷 秩父線熊谷～秩父、バス大滝村)	建設省二瀬ダム工事 事務所 秩父市大字大宮 576	450	多目的ダム (アーチ型重力式)	建設省	熊谷組	1957. 8. 1 1961. 1. 31	
埼玉県羽生市上新郷 群馬県邑楽郡明和村入会 (高崎線 吹上駅館林行バス)	埼玉県行田土木事務所	35.611	上部工 { 鋼ランガー桁 7 連 鋼合成桁 6 連 下部工 { 鉄筋コンクリート地杭 2 基 橋脚 4 基 橋脚 4 基 潜函 6 基	埼玉県	横河橋梁, 武蔵建設, 鹿島建設	1958. 7. ~ 1962. 5.	L = 658.3m W = 7 m
				武州鉄道			
川口市地内 (京浜東北線 川口駅)	中川水系工事事務所 岩槻市大字岩槻2236	131.5	放水路開削工事 橋梁架設	埼玉県	島田建設, 橋河橋梁, 日本鋼管	1960. 9. ~ 1969. 3.	
北葛飾郡幸手町地内 (東 武日光線 幸手駅)	中川水系工事事務所 岩槻市大字岩槻2236	32	排水樋管排 排水機場水槽 放水路開削工事	埼玉県	建設省委託 大同コンクリート	1960. 9. ~ 1969. 3.	
埼玉県川口市 (京浜東北 線 川口駅)	川口市水道部 川口市青木町 1	81.8	内径 300 m/m～内法 1 800 m× 1 800 m/m 延長 84 623 m 昭36年度 300 m/m～1 200 m/m 延長 25 293 m	川口市	村石組, 坂東土建 峯久組	1956. 4. ~ 1963. 3.	
大宮市砂町2の303 (東北 線 砂駅 (新設予定))	埼玉県 浦和市高砂町 3 の 37	41 385 4.455 (36年度)	住宅団地工事	埼玉県	白又組, 不動組, 島藤建設, 八王建設, 山口電気	1961.11. ~ 1962. 3.	
大宮市大字大谷字後 (大 宮駅より東武線 七里駅, バス)	埼玉県 浦和市高砂町 3 の 37	15.534 2.984 (36年度)	住宅団地工事	埼玉県	小野里工業, 佐伯 工務店, 斎藤工業 松米建設, 佐田建設, 積田電気	1961.11. ~ 1962. 3.	
浦和市南浦和 (京浜線 南浦和駅)	浦和市 浦和市仲町 2 の 134	21.534	上部 ゲルバー 1 連 92.3 m 合 成 桁 1 連 23.7 m プレートガーダー 8 連 7.5 m×8 下部 脚橋 11基 橋台 2基 巾員 13m	浦和市	戸田組	1960. 7. ~ 1964. 3.	

工 事 概 要

と、これにともなう工業団地の開発が用意されている。これら工業開発などにより本県の将来人口は約 100 万人の増加が見込まれ、350 万人近くなるものと予想される。

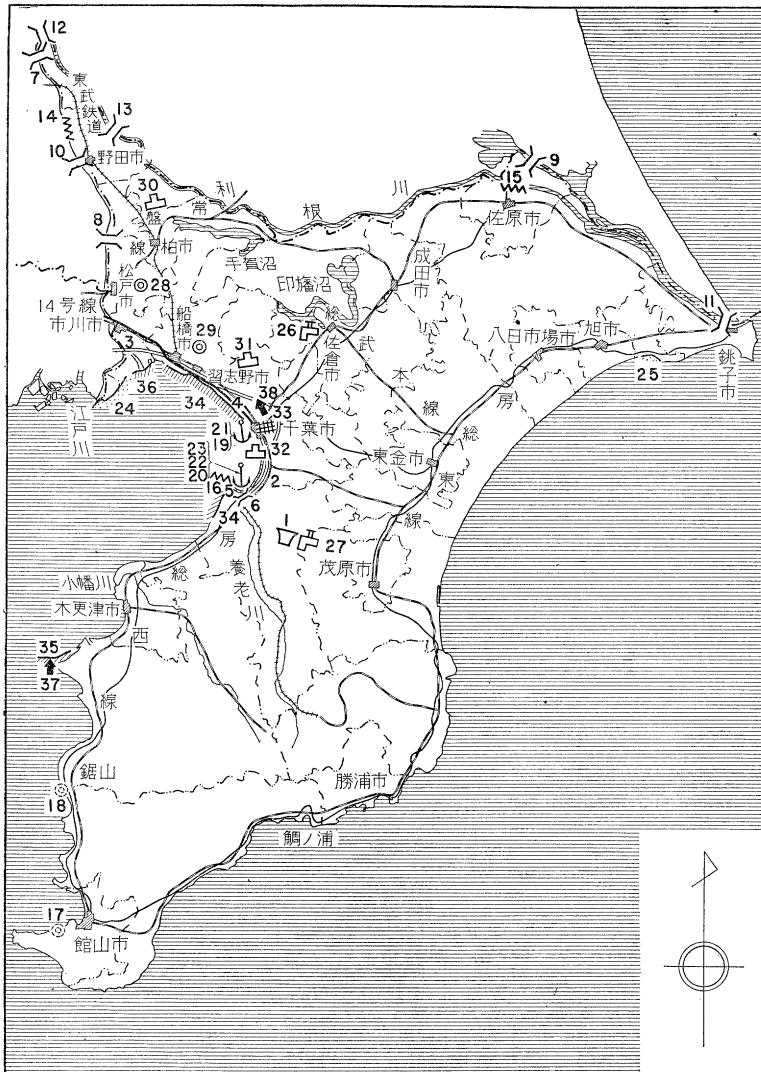
4. 観 光 県西部山岳地帯が秩父多摩国立公園に指定され、これに続く丘陵地帯に武甲、長瀨玉淀などの八つの県立自然公園が点在している。この他平野部は花の名所や史跡が多く、東京からの日帰りまたは 1 泊コースとして多くの人々に親しまれている。これらの観光資源と恵まれた立地条件にある本県は、ことに若人の健全で清潔なレクリエーションの地として利用施設の整備を行っている。すなわち、国立公園内秩父湖畔の県営秩父ユースホステル、地元市営の国民宿舎として飯能市覧山荘、秩父市武甲荘および目下建設に着手したものととして所沢市狭山湖畔に 1 カ所、その他展望施設として野田の鷺山展望

塔、鎌北湖展望塔を整備した。来年度においては狭山湖レストハウス、秩父市羊山展望休憩舎などを予定している。

また、公衆便所、駐車場などの建設を行っており今後においても国立公園二瀬集団施設地区の整備を予定している。

5. 県営発電計画 県営発電計画については、荒川総合開発の一環としての二瀬発電所 (流込式最大 5 200 kW) ならびに大洞発電所 (ピーク式最大 11 900 kW) が完成し、目下大洞第二発電所 (最大 1 600 kW) が工事中であり、昭和 38 年 1 月完了である。なお、37 年度以降分としては玉淀第一 (7 700 kW) 第二 (4 300 kW) が計画されており、この内玉淀第二を昭和 37～38 年度とし、玉淀第一を昭和 38～39 年度に完工の予定である。なお、将来、上長瀨、雲取その他を計画している。

千葉県



千葉県

千葉県では、現在京葉工業地帯の建設が盛んに行なわれている。この計画の概要は次の通りである。

まず土地造成は昭和 50 年までに、臨海工業用地として、3 400 万坪、内陸工業用地として 1 000 万坪の造成を見込んでいる。この造成計画に合わせて船橋、千葉、木更津を中心とする港湾計画、各地域を有機的に結ぶための高速度道路、鉄道の計画、総需要量 280 万 t / 日といわれる工業用水道、さ

らに上水道、後背地都市計画、文教施設などの整備が今後の千葉県の当面する大きな問題となるであろう。

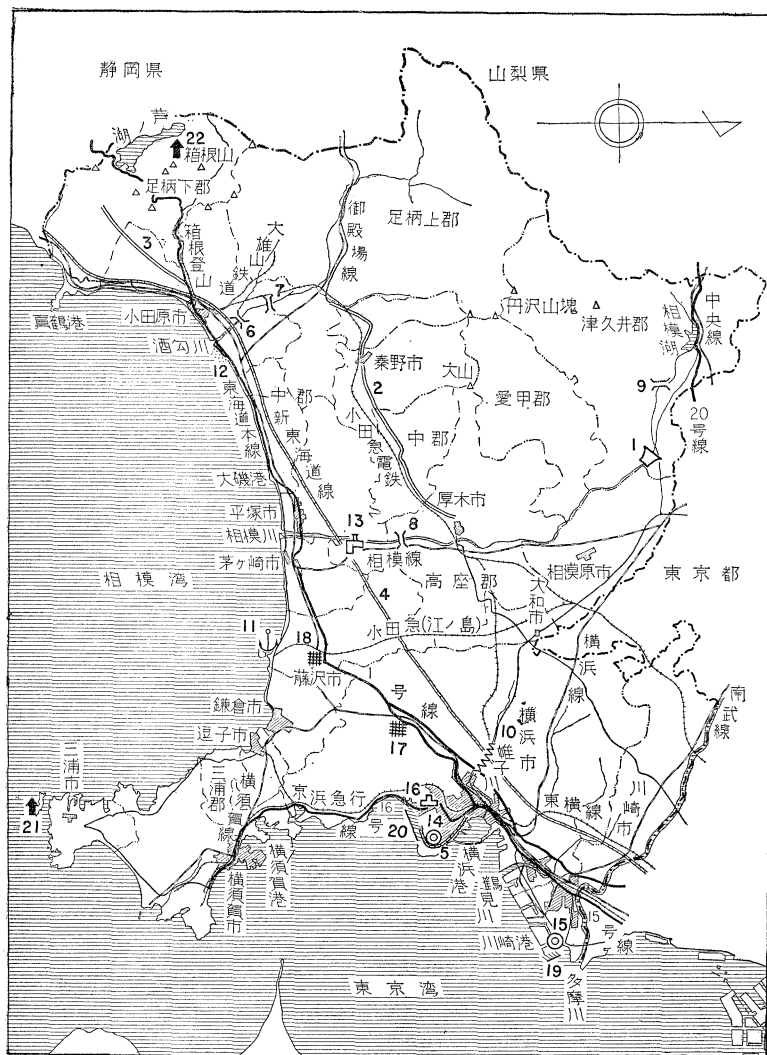
千葉県の最大の夢東京湾渡橋計画は建設が進むにつれて、必然的にその実現が考えられるであろう。

かつての農業県千葉は今新しく工業県としての歩みを続けている。我々の将来には建設に対する夢が数多く内抱されている。

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	山倉ダム
道路工事 (新 設)	2 3 4	館山 千葉 京葉国道
鉄道工事 (新 設)	5 6	臨海鉄道 養老川橋
橋梁工事	7 8 9 10 11 12 13	関宿橋 流山橋 汐来大橋 野田橋 銚子大橋 境 橋 芽吹大橋
河川工事	14 15 16	江戸川河川改修工事 利根川下流河川改修 工事 村田川・養老川河口 床止工事
観光施設および 観光計画	17 18	国民休暇村 鯉山ロープウェイ
港湾工事 (修築工事)	19 20	岸 壁 (5000°/W -7.5 m) 道路舗装 浸 没 (-7.5 m) 物 揚 量 (400°/W -3.0 m) 防 波 堤 (")
(起 債)	21	上屋 (1 階) 荷役機械 (150 t/時) (10t吊) 埠頭用地 引 船
(特別会計)	22	航路浚渫 (-12.0m) " (") " (-9.5m) 航路浚渫 (-12.0m) 泊地浚渫 (-12.0m) 防 波 堤 航路浚渫 (-14.0m) " (")
	23	岸 壁 (-9.0m)
海岸保全	24 25	東京湾高潮対策 飯岡海岸助成工事
上水道および 工業用水	26 27	川鉄工業用水 養老川工業用水
下 水 道	28 29	金ヶ作下水道 高根木戸下水道
工業用地計画 および住宅	30 31 32	流山野田市工業団地 習志野 " " 京葉臨海工業地帯
都市計画	33	千葉市
埋立工事 (千葉港)	34	検見川地先 稲毛地先 五井、姉崎、袖ヶ浦 地区 八幡浦干拓地 追浜地区
(木更津港)	35	君津郡人見地先
(市川港)	36	市川地先埋立 第一工区 " " 第二工区
公園緑地	37 38	富津公園 千葉スポーツセンター

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000 万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施 工 年 月 竣工予定年月	備 考
市原郡三和町	工業用水道建設事務所	300	揚水式の工業用水ダム	千葉県	鹿島建設	1961～1964	
千葉市一五井町 東京都一船橋市 船橋市一千葉市	八幡土木出張所 京葉道路管理事務所 同上	317 184 380	京葉工業地帯の自動車専用道路 (24.5k) 自動車専用道路(8.9k) (8.0k)	千葉県 道路公団	鹿島建設, 東亜コ ンクリート, 清水 建設, 日本道路	1959.12～1965 1957.7～1960.4 計 画 中	
千葉市曹我町一五井理立地	未 定	75	京葉工業地帯の貨物専用鉄道	千葉県・ 国鉄	未 定	1962.3～1963.3	
市原郡五井町一姉ヶ崎町	五井姉ヶ崎開発工事局	300	ゲルバー合成桁5径間鋼管基礎	千葉県	未 定	1962～	
千葉県関宿町一 埼玉県幸手町	松戸土木出張所	20	ゲルバー合成桁, 井筒基礎	千葉県	竹下組, 桜田機械	1959.10～1963.12	
千葉県流山町一 埼玉県早稲田村	建設省江戸川工事々 務所	24	ゲルバー桁	建設省	小松扶桑建設	1960.1～1963.12	
千葉県佐原市一 茨城県沙来町	茨城県土木出張所	15	PC桁	茨城県		1961.12～	
千葉県佐原市一 埼玉県北葛飾郡	松戸土木出張所	35	ゲルバー桁, ケーソン基礎	千葉県	竹下組	1961.12～1963.12	
千葉県銚子市一 茨城県鹿島郡	道路公団銚子大橋工 事々務所	92	連続合成桁, ゲルバートラス, ケーソン基礎	道路公団	清水建設, 横河橋 梁	1960.4～1962.12	
千葉県関宿町一 茨城県境町	境橋工事々 務所	52	連続合成桁			1961.12～	
千葉県野田市一 茨城県猿島郡	芽吹橋管理 事務所	42	ゲルバートラス		横河橋梁	1955.12～1958.12	
	江戸川工事々務所 利根下流		埋立工事により河床低下防止工事				
館 山 市 君津郡天羽町	同 左	29 5	大規模な休暇村 ロープウェイ			1961～1970 1961	
千葉市神明町(国鉄 千 葉, 本千葉駅)	千葉港建設局	18.5	鋼矢板式	千葉県	未 定	1962～1965	260m
千葉市市原町金杉(国鉄 五井八幡宿駅)	千葉港建設局 市原分室	10 10 7	コンクリート舗装 棧 橋 式				13 740m ² 672 000m ³ 270m
千葉市市原町八幡宿 (国鉄 八幡宿駅)		4.5				1962	170m
千葉市市原町五井, 八幡宿駅 (国鉄 五井, 八幡宿駅)		100				1962～1965	1 000m
千葉市神明町(国鉄 千 葉本千葉駅)	千葉港建設局	4.5	鉄骨平家	千葉県	未 定	1962～1965	(100×30m) ² 3 000
		18	門型 走行, 引込式クレーンお よびモバイルクレーン				714 200m ² 2 000HP 2隻
		12.8 4.0					
		93.2	千葉県が運輸省より委託されて 千葉県施工	運輸省	一部36年度施工 阪神築港	1961～1963	3 300 000m ³
		38.8				1961	2 200 000m ³
		13			未 定	1963	600 000m ³
市原郡五井町(国鉄 五 井駅, 八幡宿駅)	千葉港建設局 市原分室	11.3			若松築港	1961	639 000m ³
		22.2				1961	1 756 000m ³
市原郡五井町(国鉄 五 井駅, 姉崎駅)	五井姉崎開発工事局	48.8 21			未 定	1962～1963 1962	650m ³ 1 140 000m ³
市原郡姉崎町		11.6 14				1962 1962	680 000m ³ 810 000m ³
市原郡五井町(国鉄 五 井駅, 八幡宿駅)	千葉港建設局 市原分室	25	千葉県が東京電力より委託さる セル型岸壁	東京電力	間 組	1959～1961	480m
市川市～東京都太田区 海上都飯岡町	銚子市銚子土木出張所	20	高速度道路と兼用 海岸浸蝕の完全防止	千葉東京 千葉		計 画 中 1952～1958	
印旛郡印旛沼～川鉄	川崎製鉄			川 鉄		1960	山倉ダム工場
松戸市金ヶ作 船橋市高根木戸	松戸市 船橋市	15 12	1団地の下水道	住宅公団		1959 1959	
野田市付近 習志野市付近 市川市～富津町							埋 立 計 画
千 葉 市	県都市計画課	200	千葉駅改良, 街路計画			1950～1960	
千葉市幕張町(国鉄幕張 駅 京成幕張, 検見川)	千葉市浪花町, 検見川 地先埋立工事々務所	50.7	印旛沼水路掘削土砂の土捨場 (農林省施工)	千葉県	奥 村 組	1956～1963	674 000m ² (204 000坪)
千葉市稲毛町 (国鉄京成 稲毛駅)		101.9		千葉市	若松築港	1960～1962	798 000m ² (241 400坪)
市原郡五井町～君津郡 袖ヶ浦町(国鉄 姉崎長浦 駅)	市原郡姉崎町五井姉 崎開発工事局	3 905.3		千葉県	水野組, 株木建設, 若 松築港, 阪神築港, 新日本土木, 佐伯建 設, 大都工業, 東亜 港湾, 三井不動産, 泰生開発, 東海臨港	1961～1967	18 280 000m ² (5 530 000坪)
市原郡市原町 (国鉄八幡宿駅)	市原郡市原町千葉港 建設局市原分室	95.1				1960～1961	516 000m ² (468 400坪)
千葉市蘇我町～浜野町 (国鉄 浜野駅)	千葉市川崎町川崎製 鉄KK	287.3	千葉県が川崎製鉄KKに委託		東亜港湾	1961～1965	1,548 400m ² (468 400坪)
君津郡君津町人見 (国鉄 青堀駅)	君津郡君津町人見八 幡製鉄KK千葉建設 事務所	197.53	千葉県が八幡製鉄KKに委託			1961～1962	484 000m ² (146 000坪)
市 川 市 (国鉄 西船橋駅)		93.47 124.64		市川市	大都工業	1961～1963 1959～1961	658 000m ² (200 000坪) 896 000m ² (271 000坪)
君津郡富津町 千葉 市	県都市計画課 市	56 450	海浜公園 総合運動場			1951～1965 1961～1970	

神奈川県



神奈川県

近年における日本経済の成長は戦後世界でも驚異的なものになっているが、本県は東京都に隣接し、京浜工業地帯の一翼をになっているため、その影響はいちじるしく、工場建設住宅地の開発は非常に勢いで進められている。

したがって、総合計画にもとづく公共施設の整備は緊急な課題となっているので、県においては大規模な工業用地の造成、住宅用地の造成を行うと共

に工業用水および住宅用水を確保するため、相模川総合開発に着手し、県および各市のこれに関連する総事業費には400億が計上されている。また県住宅公社による住宅団地建設によって住宅の高層立体化が進められ、道路整備も5カ年計画にもとづいて、東京沼津線（二国）の改良を中心として、県全体の交通網整備が計画され、実施に移されているのが現状であり、総合計画により県全体の発展を期待している。

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	相模川総合開発事業 (城山ダム)
道路工事 (新 設)	2	東京—沼津線 道路整備事業
	3	箱根バイパス
鉄道工事 (新 設)	4	東海道新幹線
	5	根 岸 線
橋梁工事	6	報 徳 橋
	7	飯 泉 橋
	8	戸 沢 橋
	9	道 志 橋
河川工事	10	惟 子 川 河川改修工事
港湾工事	11	湘南港建設事業
海岸保全	12	高潮対策事業
上水道および工業用水	13	寒川浄水場建設事業
下 水 道	14	本牧下水処理場築造 工事
	15	入江崎下水処理場建設 工事
工業用地 計画および住 宅	16	磯子団地
都市計画	17	戸塚駅前都市改造事 業
	18	藤沢駅前都市改造事 業
埋立工事	19	川崎臨海工業地帯造 成事業
	20	根岸湾海面埋立事業
公園緑地	21	城ヶ島公園整備事業
	22	湖尻集団施設地区整 備

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	事業主体	主要施工業者	施 工 年 月 竣工予定年月	備 考
津久井郡城山町城山（国鉄 橋本駅）	同 左	860	多目的ダム（重力式）	神奈川県	熊 谷 組	1962～1964	
厚木一松田町（小田急大 泰野駅）	泰 野 市	314	道路改良 及舗装 4.5～5m を 11m に改良	神奈川県	未 定	1961～1964	
湯本一元箱根		212	延長 13.8 km	日本道路 公 団		1958.12. 1962. 3.	
桜木町～大 船				国 鉄 〃			
小 田 原 市	小 田 原 市	20	7 径間連続 PC 6W×252 I	神奈川県	馬 淵 建 設	1959～1963	
〃	〃	25	梯形ボックス合成桁 9.5×356	〃	宮 地 鉄 工	〃	
厚 木 市	厚 木 市	30	3 径間鋼連続桁 8×525	〃	未 定	1961～1965	
津 久 井 町	津 久 井 市	20	鋼リブアーチ 8×235	〃	〃	1962～1964	
横浜市保土ヶ谷	横浜治水事務所 横浜市保土ヶ谷	96	市内河川の改修	神奈川県	約 15 社	1959～1966	
藤沢市江の島	同 左	186	ヨット ハーバー	神奈川県	清 水 建 設 東 亜 港 湾 西 松 建 設	6961. 5. 1963. 3.	
小田原市酒匂 酒匂川河口左岸	小田原市網一色（小 田原土木）	12	防 潮	神奈川県	泰 平 工 業	1961～1965	
高座郡寒川町	同 左	87		神奈川県	未 定	1961～1963	
横浜市中区小港町地先埋 立地（市電小港橋）	横浜市下水施設課	92	活性汚泥法の内ステップエアレ ーション	横 浜 市	西 松 建 設	1959～1962	
川崎市大師河原夜光町 （トローリーバス食塩前）	下水道事務所（川崎 市元木町）	200	散気式活性汚泥法	川 崎 市	保 坂 建 設	1958～1967	
横浜市磯子区森町，南区 上大岡町地内	横浜市磯子区磯子町	828	住宅団地造成，住宅建設，都市 計画街路建設	神奈川県 住宅公社	千 代 田 組 日本機械土木	1960～1962	
横浜市戸塚区戸塚駅付近	横浜市計画局	120	駅前周辺の整備	横 浜 市		1961～1965	
藤沢市藤沢駅付近	藤沢市建設部	80	同 上	藤 沢 市		1959～1965	
川 崎 市	川崎市富士見町	883	工業用地造成	神奈川県	東 亜 港 湾 西 松 建 設	1956～1962	
横浜市磯子区杉田町	磯子区禅馬	1 750	工業用地造成	横 浜 市	東 亜 港 湾 水 野 組	1956～1965	
三浦市城ヶ島 箱根町湖尻	横須賀土木事務所 箱根地区公園管理事 務所	15 事業のみ 15	公 園 新 設 国立公園集団施設地区整備	神奈川県 神奈川県 及び民間		1958～1962 1960～1962	